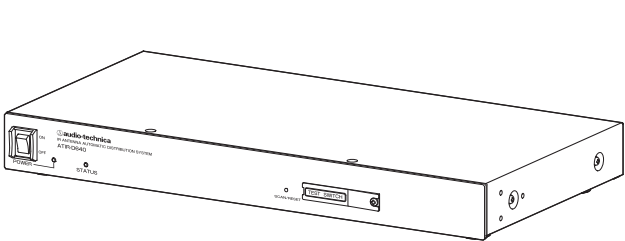


取扱説明書

赤外線混合分配器 **ATIR-D640**

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



- 赤外線受光ユニットATIR-A400、ATIR-A410を最大6台まで接続可能
- 受信した赤外線信号を混合し、レーザーATIR-R820、ATIR-R840の各ユニットに分配
- 複数台同時使用により、受光ユニットを最大 36 台まで増設し、カバーエリアを広範囲に拡大可能
- 配線ショートなどを検出する自動復帰型の安全回路を搭載し、トラブルを未然に回避
- 設置の際に配線しやすい「ケーブル長補正機能」を搭載

audio-technica

保証書

持込修理

型名

ATIR-D640

ご購入年月日

年 月 日

保証期間

ご購入日より 1 年

フリガナ
ご氏名

ご住所 〒 ()

転載不可

- 同梱品を確認する
- 本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までご連絡ください。
- 赤外線混合分配器

●電源ケーブル

●ラックmountアダプター(短)×2

●3P-2P 電源プラグ

●ラックmountアダプター用
取り付けねじ×6

●取扱説明書 - 保証書
付き -(本書)

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

警告

●付属の電源ケーブル以外使用しない

電流量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。

●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない

感電、故障や火災の原因になります。

●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない

事故や火災の原因になります。

●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない

異常に気づいたら、お買い上げの販売店が当社ホームページ記載の各営業所に修理を依頼してください。

●分解や改造はしない

感電、故障や火災の原因になります。

●強い衝撃を与えない

感電、故障や火災の原因になります。

●濡れた手で触れない

感電やけがの原因になります。

●水をかけない/水滴やみずしぶきのかかる場所に置かない

感電、故障や火災の原因になります。

●布などで覆わない

過熱による火災やけがの原因になります。

注意

●不安定な場所に置かない

転倒などによりけがや故障の原因になります。

●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない

故障、不具合の原因になります。

●火気に近づけない

変形、故障の原因になります。

●ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない

変形、故障の原因になります。

●密閉された狭い場所や熱がこもる場所には置かない

変形、故障の原因になります。

●調理台の近くなど油、蒸気、熱のあたる場所には置かない

変形、故障や不具合の原因になります。

●本製品の上に物(花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属)などを置かない

万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

電源ケーブルについて

警告

●表示している電源電圧以外で使用しない

過熱による火災など事故の原因になります。

●本製品以外には使用しない

電流量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。

●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない

異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店が当社ホームページ記載の各営業所に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。

●ケーブルは釘などで固定しない、束ねたまま使用しない

過熱による火災など事故の原因になります。

●コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む

過熱による火災など事故の原因になります。

●ケーブルを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする

断線、故障の原因になります。

●ケーブルの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない

感電によるけがの恐れがあります。

●分解や改造はしない

感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

●強い衝撃を与えない

感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

●濡れた手で触れない

感電によるけがの恐れがあります。

●布などで覆わない

事故や火災の原因になります。

●プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る

長い間掃除をしないと、火災など事故の原因になります。

●アース線は、必ずコンセントの接続前に取り付け、コンセントを外した後に取り外す

火災の原因になることがあります。安全のため、必ず手順を守ってください。(3P-2P 電源プラグ使用時)

●接地(アース)極付コンセント以外には接続しない

火災の原因になることがあります。

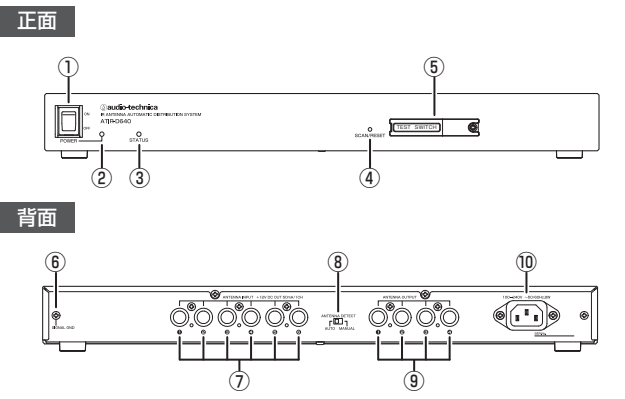
●すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにする

電源スイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ケーブルの配線上に大型電気機器があると、ノイズが発生する可能性があります。その場合は、ノイズが発生しなくなるまで離して配線してください。
- 設置した受光ユニットが使用者や障害物の影にある場合、受信しません。マイクロホンから複数の受光ユニットが見えるように設置してください。
- 受光ユニットを 7 台以上接続する場合、本製品を複数台使用してください。
- 本製品を複数台使用する際、出力端子と入力端子を接続(カスケード接続)しないでください。

各部の名称と機能



- ①電源スイッチ

電源の ON/OFF を行います。
- ②電源インジケーター

電源を ON にすると青色に点灯します。
- ③ステータスインジケーター

ケーブル長補正機能が動作している際、緑色に点灯します。
- ④スキャン／リセットボタン

ケーブル長補正機能を使用する際に使用します。
- ⑤ケーブル長補正スイッチ

手動でケーブル長補正をする際に使用します。通常は使用しません。使用する際はカバーを取り外し、背面にあるケーブル長補正切換スイッチを「MANUAL」に設定します。
- ⑥シグナルアースグランド端子
- ⑦入力端子
- ⑧ケーブル長補正切換スイッチ

ケーブル長補正機能の AUTO/MANUAL を切り換えます。
※工場出荷時は「AUTO」に設定されています。
- ⑨出力端子
- ⑩AC インレット端子

付属の電源ケーブルを使用し、AC100V 50/60Hz の電源に接続してください。
- ※付属の 3P-2P 電源プラグを使用する場合は、アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

また、アース接続を取り外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

※本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。
- 裏の保証規定を必ずお読みください。
- 株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp/proaudio/support/
Eメール：proaudio@audio-technica.co.jp

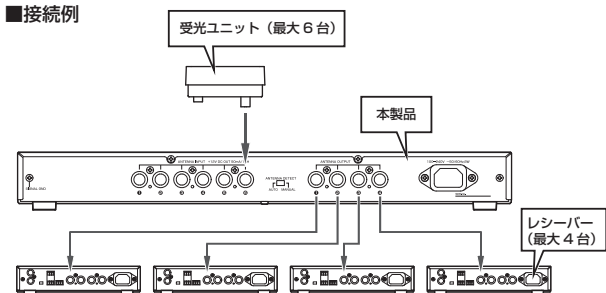
接続のしかた

- ・接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- ・同軸ケーブルは、ほかのケーブルと一緒に束ねて配線しないでください。雑音の原因となります。

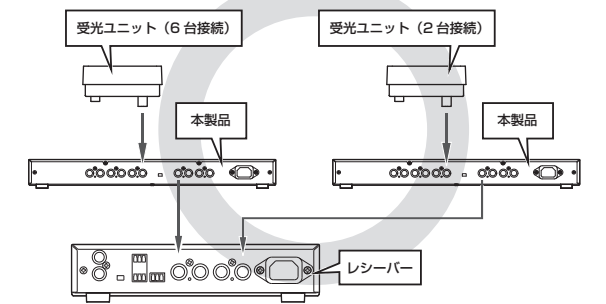
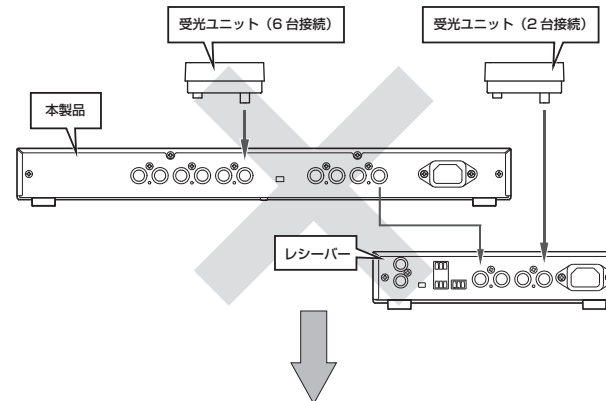
- ①本製品の入力端子に受光ユニットを接続します。
- ②本製品の出力端子とレーザーを接続します。
- ③電源ケーブルを接続し、AC100V 50/60Hz の電源に接続します。
※必要に応じて、3P-2P 電源プラグを使用します。
- ④本製品の電源を ON にします。
- ⑤本製品の電源インジケーターが青色に点灯します。

本製品を使用する際は、直接レーザーに受光ユニットを接続しないでください。受光ユニットを 7 台以上使用する場合、本製品を複数台使用してください。

■接続例



■接続例（受光ユニット 8 台接続の場合）

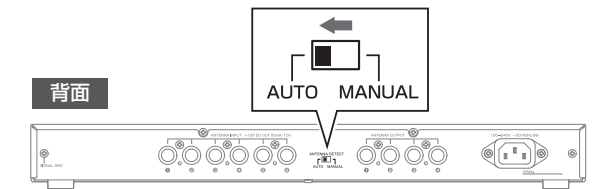


※本製品を複数台使用する際は、ケーブル長補正機能を「すべて設定する」もしくは「すべて設定しない」のどちらかに設定してください。設定後、すべてのステータスインジケーターを確認し、すべて点灯もしくは消灯していることを確認してください。設定されていない場合、飛距離の低下やノイズが発生する原因になります。

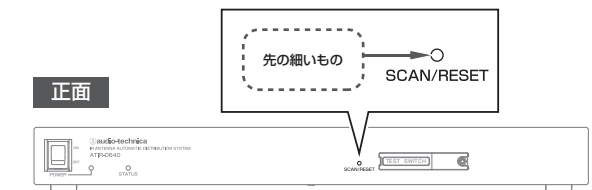
ケーブル長補正機能について

ケーブル長補正機能を使用することで、接続する同軸ケーブルの長さをそろえる必要がなくなります。

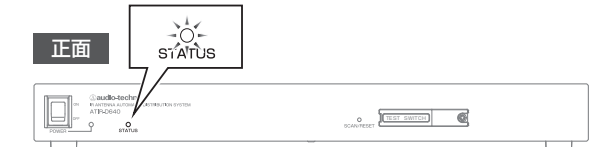
- ①受光ユニットを設置します。
- ②本製品と受光ユニットを同軸ケーブルで接続します。
- ③本製品の電源を ON にします。
- ④本製品のケーブル長補正切換スイッチを「AUTO」にします。
※工場出荷時は「AUTO」に設定されています。



- ⑤本製品のスキャン／リセットボタンを先の細いもので押します。



- ⑥ケーブル長補正機能が設定され、本製品のステータスインジケーターが緑色に点灯します。



※ATIR-A40/ATIR-A41 の受光ユニットを使用する場合、受光ユニットからケーブルを取り外し、本製品とケーブルのみの状態で設定してください。設定後、受光ユニットを取り付けてください。

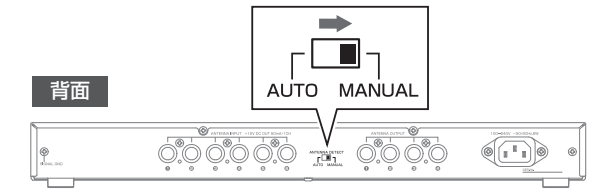
※設定後に再度スキャン／リセットボタンを押すと再設定されます。ケーブル長などの設置環境を変更した場合、再設定してください。

※設定をリセットする際は、スキャン／リセットボタンを長押し（約 4 秒）してください。ステータスインジケーターが消灯します。

※設定にエラーが起きた際はステータスインジケーターが点滅します。その場合、設定をリセットして再度設定してください。

ケーブル長補正機能がうまくいかない場合は、手動で調整できます。

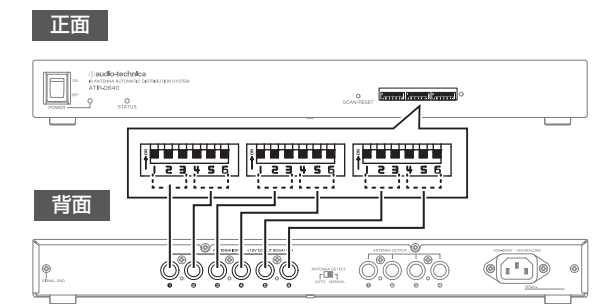
- ①ケーブル長補正切換スイッチを「MANUAL」にします。
※「MANUAL」に切り換えた場合、ステータスインジケーターは消灯します。



- ②ケーブル長補正スイッチのカバーを取り外します。



- ③ケーブル長補正スイッチは下図の入力端子と対応しています。補正したい端子を確認します。



- ④各入力端子ごとに一番短いケーブル長との差を計算し、計算した数値が下表のケーブル長許容補正範囲に含まれる箇所の設定を行います。

ケーブル長許容補正範囲	ケーブル長補正スイッチ	(参考)ケーブル長補正量
0～6m	0 1 2 (↓, ↓, ↓)	+0m
7～19m	0 1 3 (↓, ↓, ↑)	+13m
20～32m	0 1 4 (↓, ↑, ↓)	+26m
33～45m	0 1 5 (↓, ↑, ↑)	+39m
46～58m	0 2 3 (↑, ↓, ↓)	+52m
59～71m	0 2 4 (↑, ↓, ↑)	+65m
72～84m	0 2 5 (↑, ↑, ↓)	+78m
85～99m	0 2 6 (↑, ↑, ↑)	+91m

※工場出荷時は「0～6m」に設定されています。

故障かな？と思ったら

赤外線マイクロホンや赤外線レーザー、接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

症状	ご確認ください	対処方法
電源インジケーターが点灯しない	電源ケーブルが、本製品およびコンセントに接続されていますか？	→電源ケーブルをしっかりと接続してください。
音が途切れる	本製品の電源は入っていますか？	→電源スイッチを ON にしてください。
音にノイズが乗る	「ケーブル長補正機能」が正しく設定されていますか？	→「ケーブル長補正機能」の設定をやり直してください。
音が出ない	同軸ケーブルを、ほかのケーブルなどと一緒に束ねて配線していませんか？	→ほかのケーブルとは一緒に束ねず、離して配線してください。
	受光ユニットが本製品の出力端子に接続されていませんか？	→入力端子に接続してください。
	レーザーが本製品の入力端子に接続されていませんか？	→出力端子に接続してください。
	受光ユニットの電源インジケーターが消灯していませんか？	→同軸ケーブルをしっかりと接続してください。
症状が良くならない場合や不明な点がある場合	お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。	

テクニカルデータ

周波数範囲	：1 ～ 4MHz
入力端子	：BNC コネクター ×6
出力端子	：BNC コネクター ×4
アンテナ供給電圧	：DC12V±1V
最大出力電流	：50mA (各入力端子)、最大 200mA
高周波通過損失	：0dB±4dB
消費電力	：8W
動作温度	：5 ～ 45℃
電源	：AC100V、50/60Hz ※電気定格およびモデル名は、本製品の底面に表示があります。
外形寸法	：H44×W420×D210mm
質量	：約 2.34kg
付属品	：電源ケーブル、3P-2P 電源プラグ、ラックマウントアダプター（短）×2、ラックマウントアダプター用取り付けねじ×6

改良などのため予告なく変更することがあります。

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ
www.audio-technica.co.jp/proaudio

142315660-01-02
ver.1 2017.02.22
ver.2 2017.06.22

オーディオテクニカ製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。お買い上げの製品に万一異常が生じた場合は、この保証書の規定により保証期間内に限り無料で修理させていただきます。修理の際にはこの保証書をご提示願いますので大切に保存してください。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために、大切に保管ください。

なお、保証期間経過後も責任をもって修理いたしますが、その際は有料となりますのでご了承ください。本製品の基本性能を維持するために必要な部品（補修用性能部品の）の最も保有年限は製造打切後6年です。

保証規定（必ずお読みください）

保証期間中に取扱説明書に従った、正常なご使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。お買い上げのお店、当社営業所または当社ホームページのサポートまでご連絡ください。また、修理の際オーディオテクニカの判断で製品交換させていただくことがありますのでご了承ください。以下の場合は保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況によっては修理できないこともあります。

転載不可

修理品の送料

●保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品を郵送、託送される場合は、お客様に送料をご負担いただきますのでご了承ください。製品は、輸送中の事故がないよう、元通りに梱包してお送りください。

修理品の保証

●修理後、同一箇所に同一の故障を生じた場合は、保証期間を超過しても修理完了日より3ヶ月以内に限り無料で修理いたします。

その他

①この保証書の記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
②この保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
③本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。